

脚書兩行見所似 續く助のるは先般の端書に  
も中より通り番書合紙のり窓附に就き尤は中島  
氏より番書合紙のり一甲と差水らるる一甲に改し  
右柳承知務必也 然希氏は春日系流と得  
甲辰 福引の子の誠によき思ひ付と存し  
知状へ中係ありしより 更に色々中除し  
より共三十一日の入合にて番書中上  
不取翻者出さずと断り  
中島氏よりお陰に  
十九日

郵便はか



牛込  
南山  
伏所  
十四

宮

田

脩



本印  
折込  
差  
葉  
分  
台

紀平  
函  
美

印刷局製

逓信省發行



(47)